

緊急号外



令和元年広報古河11月号 緊急号外

台風19号 真夜中の緊急避難！ ～目の前に迫る決壊の危機、あなたの行動は～

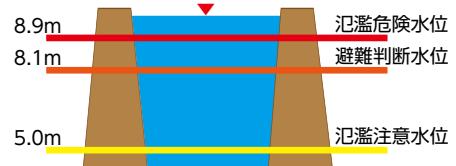
10月12日に関東・東北地方に記録的な大雨をもたらした台風19号。市内の降水量は220mm程度でしたが、利根川上流域では平均で310mm程度、多いところで500mm超えました。

その結果、利根川・思川で氾濫危険水位を超え、堤防が決壊する恐れがありました。利根川が決壊すると、市内の半分近くが浸水するほか、決壊地点付近では多くの家屋が倒壊する大災害を引き起こす可能性があります。

今回の出来事を教訓に非常持ち出し品の準備や避難先の確認など、日ごろの備えと早めの避難を心掛けましょう。

10月13日3時
利根川の水位
(栗橋観測所)

最高水位9.61m



	10/12	21時	5.26m	氾濫注意
		0時	8.47m	避難判断
	10/13	3時	9.61m	氾濫危険
		6時	9.32m	氾濫危険

なぜ深夜にサイレンが鳴り、緊急避難となつたのか？



利根川に氾濫の恐れあり

10月12日に台風19号が関東地方にもたらした大雨により、13日の早朝に利根川で越水が発生する可能性があるとの情報が利根川上流河川事務所からありました。

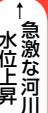
このため、市民の皆さんに朝までに避難を完了できるよう、深夜でしたが警戒レベル4(避難勧告、避難指示など)を発表しました。



深夜に鳴り響いたサイレン

利根川が氾濫し堤防が決壊した場合には、多くの人命に関わる大災害が予想されます。今回は、深夜の避難勧告・避難指示であったため緊急情報に気付かない人が多いと考えました。そこで、できるだけ多くの人に事態の重大性・緊急性を伝えるため、最も効果的であるサイレンを鳴らし続けました。

～私たちは「いつ」避難すれば良かったのか～

利根川の水位		市の対応	私たちがとるべき行動
10/12 8:00		自主避難所の設置	10/12 8:00
21:00	氾濫注意水位(5.0m)を超える  ↑ 水位 上昇 河川↓	台風が古河市に最接近	ハザードマップで避難所や冠水の恐れがある道路の確認
23:00	利根川上流河川事務所から6時間後の水位予測値が10.16mとなる連絡あり	台風通過による暴風雨の中避難を行うことは危険と判断	危険を感じたら早めの自主的な避難を
10/13 0:00	避難判断水位(8.1m)を超える		21:00
1:00	氾濫危険水位(8.9m)を超える	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	23:00
1:11		避難所開設(全32カ所)	10/13 0:00
2:00	緊急事態！ 河川氾濫の恐れあり	警戒レベル4 避難勧告 サイレン吹鳴開始	1:00
3:00	最高水位9.61mを記録	警戒レベル4 避難指示(緊急) サイレン吹鳴継続	2:00
4:00	水位の下降が始まる(9.46m)		2時以降は多くの避難所が満員でした。市HPで空き状況の確認を
			3:00
			逃げ遅れてしまった場合は避難場所へ。避難場所は孤立するリスクがあります
			4:00

ハザードマップで浸水地域と避難所を確認しましょう



利根川



渡良瀬川・思川

いざという時、避難所に行く準備はできていますか



持ち出し品

- 家の備蓄品は大丈夫？
- 家族との連絡先は？
- 避難する際にブレーカーを下げましたか？

市アプリで情報収集を



市アプリ



iOS 用



Android 用

緊急情報を
プッシュ通知
配信します

市民の命を守ることを第一に！

台風19号では、利根川上流域での大雨により水位が急激に上昇し、越水・氾濫の危険性が非常に高くなりました。洪水の危機が迫っているとき、第一に守らなければならないのは市民の皆さんの命です。

水害時、自身の命を守る最善の行動は避難しかありません。そのため、深夜遅くの避難指示や防災無線のサイレンの吹鳴を行いました。その結果、1万を超える人に避難をしてもらいましたが、浸水想定地域内の人口(約10万人)を考えると、まだまだ少ないので現実です。今回のことを見訓に、水害が起きそうなときは早めの避難を心掛け、どのような行動をとるべきかもう一度考え直していただきたいと思います。

最後に、夜遅くの避難広報に協力していただいた自治会・行政区や消防団の皆さん、緊急事態に備えて万全の準備をしていただいた自衛隊・警察署・消防署の皆さんに感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。



古河市長 針谷力